



レールバスタ暮れ撮影会 ご来場のみなさまへ

本日は「夕暮れ撮影会 2024 秋」に来場いただきまして誠にありがとうございます。

このイベントは廃線となった南部縦貫鉄道で活躍したレールバスをはじめとする南部縦貫鉄道の車両を展示し撮影を楽しむイベントです。

日中から日没・夜間帯にかけて刻々と変化する空色を楽しむイベントです。様々な顔を見せる車両たちの姿をお楽しみください。

南部縦貫鉄道は、ここ七戸町と野辺地町の間 20.9 キロメートルを結ぶ非電化単線の鉄道でした。昭和 37 年(1962 年)に開業し、平成 9 年の休止までの 35 年間、晴れの日も雪の日も走り続けてきました。その後復活することなく平成 14 年(2002 年)に廃止になりました。

令和 6 年(2024 年)10 月 20 日には南部縦貫鉄道は開通 62 周年を迎えております。

レールバスは輸送密度の低い線区用としてバス車体の構造・部品を多用して造られた軽量で低燃費の鉄道車両です。特徴は変速装置が機械式で、鉄道車両としては珍しく、クラッチとシフトレバーがあるマニュアル車であることです。機械式変速機を搭載した鉄道車両で動く状態で残された車両は国内では数輛しか残されておらず、南部縦貫鉄道のレールバスキハ 101 とキハ 102 の 2 輛は稀少な存在となっています。

この他にキハ 104 ディーゼルカーや DC251 機関車も出庫いたします。昨年、京都府にあった加悦 SL 広場で長年保存されてきました貨車ト 404 が入線しました。今回初お披露目をいたします。

このイベントは撮影を楽しむイベントです。みなさま譲り合って撮影をお楽しみくださいませ。

一般社団法人 南部縦貫レールバス愛好会

車両の点検も実施中！

南部縦貫レールバス愛好会は、旧七戸駅構内や車両を保存するため、毎月車両の修繕、線路の保守等を元鉄道部の方々の指導の下に行っています。

先日キハ104の制輪子（ブレーキパッド）をすべて新品に交換しました。かなりすり減っておりましたがこれで心配事がひとつ減りました。



ポイントの整備の様子



車両点検の様子



レール締結金具の点検

安全性向上のため 枕木のPC化を進めております



PC枕木化された3番線

南部縦貫レールバス愛好会では車両の動態保存運営を行うに当たって安全な運行を目指しております。レールを固定する木製の枕木は時間の経過と共に劣化し、メンテナンス回数が増加するため、木製枕木をPC枕木（コンクリート製）への交換を順次進めております。PC枕木化によりレールの軌間狂いが減少し安全な保存運営が確保できるのです。

しかしながらPC枕木は素人では交換できるものではなく専門の保線業者に依頼して工事を行っております。

できることであれば七戸駅構内全体の線路をPC枕木化することを目標にしております。

先日3番線の線路の枕木がPC化され車両の入線ができるようになりました。今回のイベントから3番線も活用した車両展示ができるようになりました。

最終的には1番線の線路も使えるように修繕を計画しております。

しかしながら枕木のPC化には多くの費用がかかります。その費用は駅舎で販売しているレールバスグッズの販売利益を充てさせていただいておりますが、不足しているのが実情です。足りない工事費用につきましては愛好会会員がポケットマネーを捻出して行っております。

ぜひみなさま、レールバスグッズの購入をお願いします。あなたのそのお気持ちが継続的な保存活動に繋がります。よろしくお願いいたします。



キハ104の制輪子交換作業

工事費用を稼がなくちゃいけないんです！

南部縦貫鉄道グッズを買ってください



Nゲージ模型 キハ104

南部縦貫レールバス愛好会では南部縦貫鉄道グッズを販売しております。営業当時のキップ類、鉄道模型、レールバスの行き先表示板、キーホルダー、レールバス金太郎飴など色々ございます。グッズの収益はレールバスやキハ104、七戸駅構内保存活動に利用させて頂いております。是非グッズの購入にご協力をお願い致します。